

令和4年2月15日

四日市市長 様

四日市市環境保全審議会
会長 福井 弘道



令和3年度 四日市市環境計画の進捗に関する評価結果

1. 評価に当たって

四日市市環境計画第10章「施策の管理」において、計画の実効性を確保し、着実な推進を図るため、毎年、重点施策や各施策・事業の実施状況、市民・事業者等の取り組み等を踏まえ、設定した指標を用いて客観的に進捗状況を点検・評価するとされている。また、環境計画全体の進捗状況については、市による内部評価、四日市市環境保全審議会による外部評価を行うとされている。

そこで、当審議会では、市の内部評価を含む「四日市市環境計画年次報告書（令和2年度事業）」について、重点施策の実施状況や、取り組み指標の進捗状況に関する資料等を基に、環境計画全体の進捗について検討し、評価を行った。

2. 評価結果

令和2年度における環境計画の進捗については、概ね計画どおりに取り組みが実施されているものと評価するが、数値目標の達成率が低い項目についてはその原因を分析・検討した上で、達成可能な取り組み、改善策を期待する。また、環境計画全体の進捗としては、低炭素社会や自然共生社会に関連する部分で、目標の達成状況が停滞しているものが多い。一方で、快適生活環境社会に関連する目標については、多くの指標で達成済みとなっている。

第三期環境計画に基づく進捗評価は令和2年度までであるが、令和3年度から計画期間が始まった第四期環境計画に基づき、今後も効果的な施策を実施していただきたい。

SDGsの達成には、人間の生存基盤である自然環境への対策が不可欠である。また地球温暖化対策だけでなく、市民にとって一番身近なごみ問題や、生物多様性の保全などの環境問題を、他のSDGsの目標と連携させながら引き続き取り組んでいただきたい。さらには多様な関係者が協働して、関連する課題の同時解決を可能にする取組の展開を期待する。

